

か け は し

第 24 号

平成 26 年 3 月 30 日発行

奥州市江刺区愛宕字八日市 69—4

岩手県農産物改良種苗センター内

(0197-35-8505)

目 次

1 ごあいさつ	岩手・沖縄かけはし交流協会	会長	福岡勝夫
2 平成 25 年度かけはし交流協会定期総会開催結果	岩手・沖縄かけはし交流協会		事務局
3 「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地」記念碑建立経緯	岩手・沖縄かけはし交流協会	事務局長	工藤純一
4 平成 25 年度事業実施トピック	岩手・沖縄かけはし交流協会		事務局
5 編集後記	岩手・沖縄かけはし交流協会	事務局	

ごあいさつ

岩手・沖縄かけはし交流協会 会長 福岡勝夫

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

まだまだ寒さの抜けない岩手でございますが、陽射しは何処か春を思わせる毎日となりました。白鳥も忙しく北帰行の準備に追われております。

さて、今年の 1 月の石垣島交流ツアーは恒例となっているマラソン大会に大きなイベントが加わりました。それは皆様既にご承知の北上市と石垣市との友好都市提携調印式が行われたことでもあります。この交流協会の初代会長高橋洋介さんを始め、関係者の多くがこの日を待ち望んでいました。両市の市民の皆様、経済界の方々、県内、地域の各団体の皆様のこれまでの友好の努力が、そして両市の市長さんが相互にマラソンを始め、市民の交流に参加し、熟度を直に肌で感じ頃合いが見図られたと思っています。それが、無理のないごく自然の流れの中で友好提携が締結調印されたのではないのでしょうか。一つの大きな感動でありました。交流協会として嬉しかったのは、この締結に岩手日報社北上支局、岩手日日新聞社北上支社、北上ケーブルテレビから記者が同行取材に当たられ、調印の一部始終、市民の喜びを報道してくれたことでもあります。更に各社とも 20 年間の足跡を振り返り、種籾増殖のころからの 20 年間を特集やシリーズで報道してくれました。初期からの会員が少なくなっている昨今、県内の皆様にあの不作に苦労された時期、石垣の農家の方々を取材され、熱い思いでコメ作りに取り組んでくれた姿を今に再現してくれたのであります。交流の原点を改めて私たちに示してくれたと思っています。各報道機関には大変感謝であります。

この友好提携締結に素晴らしいおまけがつかしました。それは調印式に御来賓としてお出で頂いた濱田元副知事さんが調印式翌日の早朝に素晴らしい虹が沖縄の海から岩手にかけて懸かっているようで、とても感動的だったとその光景を撮った写真とデータを工藤事務局長のところに送ってくれたのであります。転送されたもので見させて頂きましたが本当に素晴らしい場面でした。きっと洋介前会長はその虹を愉しげに渡っていたのかなと思いました。

20 年の節目を過ぎ次のスタートが切られました。北上市と石垣市の新しい交流が始まります。両市の益々の交流と発展を祈ります。この友好が生まれたのも会員の皆様がこれまで脈々と手を取りあって築いてきた絆があったればこそである思っております。

会員の皆様の今後の御協力、ご支援をお願いいたします。



虹のかけ橋

撮影者 濱田明正氏 (元岩手県副知事)

日 時 平成 26 年 1 月 26 日

午前 7 時 50 分頃

撮影場所 石垣市新川 2484

ビーチホテル サンシャイン

平成25年度かけはし交流協会定期総会結果

岩手・沖縄かけはし交流協会 事務局

平成25年度総会は、恒例の岩手北上マラソン大会に合わせ行う予定でしたが、皆様へお願いしました通り、北上市総合運動公園にて「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地記念碑建立式典」が開催されることとなったことから開催時間を確保出来ない状況となり、書面議決とさせていただきます。提案議案3件を会員170名の皆様にお送りしましたが、返信はがきにて回答を頂いた賛否の結果は以下の通りで、各議案とも回答者119名全員から承認を頂きましたことをここにご報告いたします。

議 案	返信数	賛成	反対
第1号議案 平成24年度事業実績並びに収支決算(案)の承認について	119	119	0
第2号議案 平成25年度事業計画並びに収支予算(案)の決定について	119	119	0
第3号議案 役員改選について(事務局提案の承認について)	119	119	0

「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地」記念碑建立経緯

岩手・沖縄かけはし交流協会 事務局長 工藤純一

平成5年の岩手県の大冷害を受け、沖縄県(石垣市)に翌年の種籾の増殖(種籾緊急増殖事業)をお願いしてから丁度20年を経過した平成25年10月14日、北上市総合運動公園中央広場にて「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地」記念碑建立除幕式典が挙行されました。今回の建立の発端は、前年の1月に石垣市民が発起し石垣市において「高橋洋介顕彰碑」建立除幕式・祝賀会式典を盛大に開催して頂いた場に出席した北上市の有志の方々7名が、岩手にも当協会の前会長であった洋介さんの功績を顕彰する形あるものを残したいとの一念からの発案でした。幸いにも、前年の顕彰碑建立に向けた岩手側の「高橋洋介氏顕彰碑建立を支援する会」が募った建立支援金を清算した結果、余剰金が出たことから当協会へ活動支援金として1,544,179円の譲渡がなされ、その中から記念碑制作設置代金を支出することが出来ました。式典費用は7名の有志の方々の拠出金で賅ったと言うことで、式典・祝賀会はささやかな形となりましたが、その内容は平野達男国会議員、藤原崇国会議員も急遽参加されるなど、洋介さんの人徳が偲ばれる大変賑やかな心からの祝意に溢れた式典・祝賀会でした。又、対外的には要請しませんでした。記念碑建立趣旨に賛同された方々からの賛助金の協力もあり、発起人となった7名の有志の方々の思いに当協会としても応える事が出来ました。ここに7名のお名前を記し、その熱意に謝意を表します。

なお、発起人の方々が一番心配した建立場所につきましては、北上市より思いもよらなかった北上市総合運動公園中央広場への設置場所のご提供を頂いたことに対しましても、そのご配慮に心より感謝する次第です。又、この両市における民意による顕彰碑・記念碑建立が後押しとなり、この1月、北上市と石垣市が友好都市提携調印に至ったことは洋介さんが生前望んでいた最大の「かけはし交流」の実現になったものと、関係された皆様にご報告できる立場で参加させて頂いた者として心より御礼申し上げます。

記念碑建立発起人：中村好雄様、阿部昭市様、小原満雄様、加藤康久様、片方武夫様、中道幸男様、昆野伸一様

碑文(裏面)紹介

岩手と沖縄石垣島の交流は今年で20周年の節目を迎えました。この交流は、平成5年に岩手が近年にない大冷害に襲われた際、二期作ができる石垣島において種籾増殖事業に取り組んでいただいたことがきっかけでした。この前例の無い事業の岩手側の陣頭指揮を執ったのが北上市出身の当時岩手県農政部長の高橋洋介さん(元岩手県副知事)でした。生まれた新品種は「かけはし」「ゆめさんさ」と名付けられ、岩手と沖縄石垣島の交流の象徴となりました。

その後「岩手・沖縄かけはし交流」は、沖縄県の農業技術改良をはじめ両県の物産振興や石垣島マラソン大会、北上マラソン大会への市民相互参加、岩手県立盛岡第四高校と沖縄県立八重山高校の姉妹校提携等、幅広い民間交流に結実しています。

また、このような普段からの交流があった縁で、三陸沿岸に未曾有の被害をもたらした平成23年3月11日の東日本大震災に際して、沖縄県民、石垣市民の方々に物心両面にわたって多大な支援を頂くことができました。

岩手と沖縄石垣島の交流発展に尽力した高橋洋介さんの功績をしのび、両県の友好が未来永劫続くことを祈念して記念碑をこの地に建立します。

平成25年10月13日

「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地」記念碑建立有志一同

平成 25 年度の事業実施状況トピックス

岩手・沖縄かけはし交流協会

事務局

今年度は、総会を书面議決とし依頼時に収支予算等詳細を会員全員に配布しましたので、広報誌内容が殆ど重複することとなることから 25 年度の当協会に関する事業実績のみをトピック的にご報告いたします。

- 1、平成 25 年 6 月 4 日（火）～5 日（水） **水稻種子緊急増殖事業 20 周年の集い**（於：花巻市渡り温泉）
 - ・当時の事業に携わった方々や、高橋ひろ江令夫人、菅原郁子令夫人・ご家族を含め 51 名の参加の元、当時の思い出話や数々のエピソードが披露され、旧交を温めたのでした。沖縄県からも当時の八重山農業改良普及センターの新城寛成所長ご夫妻、西大橋高仁次長等も参加され、当時の感慨を語りあいました。又、4 日には高橋洋介氏、菅原邦典氏を墓参し改めて功績を偲びました。なお、その状況を岩手日報紙の 8 月 5 日付け「日報論壇」に投稿し、事業の偉大さを改めて啓蒙しました。
- 2、平成 25 年 8 月 3 日（土）～6 日（月） **八重盛 48 会による「被災地ふれあい交流会」**（於：宮古市他）
 - ・八重山高校 PTA O B で結成している八重盛 48 会（平田勝男会長）が、震災年の平成 23 年から盛岡第四高校 PTA とともに宮古市の近内地区仮設団地住民とふれあい交流会を継続しており、今年度も 4 日の交流会を手始めに、久慈地区や盛岡市等を被災地支援観光で訪れました。近内団地住民の方々との交流では仮設団地が無くなるまで訪れる約束をしているとのことで継続的支援を確認して帰県しました。
- 3、平成 25 年 8 月 23 日（金） **岩手・沖縄かけはし交流協会理事会**（於：盛岡市内丸「洋介事務所」）
 - ・役員・事務局員 7 名の参加により平成 25 年度総会に向けての議案の審議を行った。
 - ・「高橋洋介氏顕彰碑建立を支援する会」が募った建立支援金を清算した結果、余剰金が出たことから当協会へ活動支援金として 1,544,179 円の譲渡がされたことを報告。北上市の有志が、高橋洋介氏の顕彰碑を岩手にも建立すべく活動をしていることから、当協会としても全面的に協力することの了承を得た。
 - ・役員改選に当たり、事務局案の提案を行い了承を得た。
- 4、平成 25 年 10 月 13 日（日） **「岩手・沖縄かけはし交流発祥の地」記念碑建立式典・祝賀会**（於：北上市）
 - ・10 月 14 日付け新聞掲載記事と内容重複するため、詳細は記載を省略いたします。
- 5、平成 25 年 10 月 13 日（日） **2013 いわて北上マラソン大会後援**（於：北上市）
 - ・高橋洋介前会長が提案し県内初のフルマラソン市民大会として定着した表記大会を後援し、沖縄物産販売コーナー開設と沖縄県からの参加者（中山義隆石垣市長他 25 名）との「石垣・岩手かけはし交流パーティー」を、記念碑建立祝賀会と合同主催で開催し、参加者 117 名で交流を深めました。
- 6、平成 25 年 10 月 16 日（水）～10 月 24 日（木） **宮古北高生の石垣市での震災体験発表支援**（於：石垣市）
 - ・石垣市の東北被災地支援団体（ちむぐくる）の招待で宮古北高校生 2 名、教員 1 名が盛岡第四高校の交流事業団と共に石垣市を訪れ、「津波の恐ろしさ後世に」と題し体験発表を行うなど現地交流を図りました。当協会として 3 名への支援金（お餞別）を贈呈しました。
- 7、平成 25 年 10 月 27 日（日） **安里隆作曲作品チャリティー発表会名義後援**（於：石垣市）
 - ・岩手との交流を謳った「北上旅情」、洋介さんを偲ぶ曲「星空の君へ」の作曲家であり歌手でもある安里隆氏が音楽活動の発表会を企画し、東日本震災支援チャリティーを兼ねていたことから当協会として名義後援を行いました。実行委員会より当協会へ支援金 50 万円が贈呈されました。
- 8、平成 25 年 10 月 31 日（金）～11 月 4 日（月） **「那覇太鼓」による被災地慰問公演支援**（於：大槌町他）
 - ・沖縄県の太鼓グループ「那覇太鼓」が震災被災地慰問公演で再来県。北上市を拠点にし大槌町他で 3 日間 9 公演を行いました。詳細を岩手日報紙の 11 月 20 日付け「日報論壇」に投稿し、沖縄県からの継続的支援を改めて紹介しました。
- 9、平成 25 年 11 月 2 日（土）～3 日（日） **「第 49 回石垣島まつり」への出店参加**（於：石垣市）
 - ・恒例となった「石垣島まつり」へ福岡会長他 3 名の会員を派遣し、約 4 トン余りの岩手の農産物販売を通じ石垣市民との交流を図りました。
- 10、平成 26 年 1 月 24 日（金）～27 日（月） **「岩手・沖縄かけはし交流の旅」後援**（於：石垣市）
 - ・20 回目となった交流ツアーが（株）農協観光の企画で実施され、石垣島マラソン大会参加者や観光団等 142 名がチャーター便で石垣島を訪問しました。滞在中は北上市・石垣市の友好都市提携調印式典や第 12 回石垣島マラソン大会、観光、ゴルフ等それぞれのイベントに参加し、26 日には恒例の交流パーティー・友好都市提携調印祝賀会が合同で開催される等、参加者それぞれにとって大変有意義なツアーとなりました。
 - なお、北上市・石垣市友好都市提携調印式典には当協会からは福岡会長他 4 名の役員の方々に来賓として招待され、参加していただきました。

また、今回のツアーには、友好都市提携調印式や交流 20 周年であったことで、県内マスコミ 3 社が同行取材団を派遣し各特集を組んで交流の経緯や調印式の様子等を詳細に報道して頂いたことから、当協会の今までの地道な活動が改めて各方面で紹介する機会になったものと思います。よって、ツアーの詳細は記載を割愛させていただきます。

11、平成 26 年 2 月 21 日（金）～24 日（月）かけはし交流シニアサッカー大会参加支援（於：石垣市）

- ・今回で 5 回目となるかけはし交流シニアサッカー大会へ、岩手県サッカー協会専務理事佐藤訓文氏ほか 24 名の選手応援団が訪島し、沖縄県シニアサッカーチームや石垣市シニアサッカーチームと交流を図りました。今後は県内全域から広汎な参加者を募る等し、また、定期的な大会開催となるよう企画等のバージョンアップを図り、相互訪問の大会となるよう期待しております。

編集後記

今年度は、上記のとおり盛りだくさんのイベントが開催されましたが、当協会としても今後の交流の発展に大いにつながるものと思われたことから、積極的に対応して参りました。特に北上市と石垣市の友好都市提携調印がなされたことにより、交流の輪が益々広がることを期待しております。

なお、今年度は役員改選により新たな役員が就任されましたが、旧役員の皆様には大変お世話になりました。今後とも当協会活動にご支援をいただくとともに、新役員の皆様には絶大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

岩手・沖縄 かけはし交流協会理事会名簿

H25/10 月以降

区 分	氏 名	所 属・役 職 等	備 考
会 長	福岡 勝夫	元盛岡地方振興局長	
副会長	宮澤 徳雄 藤尾 東泉 及川 清人 田中 義一	(株) 岩手日報社顧問 (株) J A シンセラ代表取締役 (J A 岩手中央農協組合長) いわて北上マラソン大会実行委員長 種籾緊急増殖時農産課長	
理 事	平井 滋 金谷 茂 伊五澤 正光 伊藤美智子 澤田 行一 高橋 友三	岩手県酒造組合会長 岩手県立盛岡第四高等学校 P T A 会長 (社) 岩手県農産物改良種苗センター専務理事 一般会員 (北上市在住・沖縄県出身) 種籾緊急増殖時農産課長補佐 岩手県庁走友会会長	新任 新任 新任
監 事	工藤 由春 中道 幸男	盛岡市議会議員 一般会員 (北上市在住)	

事務局	荒和 大	農協観光岩手支店長	
	鈴木 馨	(社) 岩手県農産物改良種苗センター部長	
	小野寺理	岩手県庁走友会	新任
	工藤 純一	事務局長	



石垣市の顕彰碑



北上市の記念碑